

令和7年度 大分っ子『未来創造プロジェクト』

目的

地域・社会や産業界の方々と生徒が連携し、地域のよさを生かした「PR活動、ものづくり、商品開発等」といった行動を伴った探究的・協働的な学習を行う中で、生徒が主体的に自分の役割や将来について考えたり、地域や社会に貢献したりしようとする態度を育成する。

年間計画例

探究課題の設定

- 地域の現状と課題、地域のよさや魅力、生徒の思いや願い等を基に探究課題を設定する

連携先の決定と企画

- 「PR活動、ものづくり、商品開発等」の内容を企画
- 連携先の決定と打合せ
 - ・企業 ・商工会議所 ・自治会
 - ・NPO ・高校 ・行政機関 等
- 目標の共有
- 活動の計画作成等

成果の発表・交流、振り返り

- 実践交流会での発表・交流
- 活動の振り返り
- 連携先への報告
- 振り返りを基に、次年度の取組に向けて計画 等

連携先と協働した活動

- 企画に係る情報収集（アンケート調査等）
- 試作品等の作製
- 広報・宣伝
- 完成品の配布、販売 等

実践校（6校）

①中津市立耶馬溪中学校

- 自然災害という地域の課題解決のため、行政等と連携
- 防災学習を通して、防災食の開発や防災の取組を広める活動等を実施



②杵築市立山香中学校

- 害獣駆除の現状から、猪肉の処理・販売業者や饅頭屋と連携
- 猪肉を使ったオリジナル中華まんを開発、販売等を実施



③臼杵市立野津中学校

- 地域を元気づけるため、和菓子販売店、海洋科学高校等と連携
- 特産品を使ったオリジナルの和菓子や洋菓子等の開発、販売等を実施



④竹田市立緑ヶ丘中学校

- フードロス削減のため、地域のトマト農家、食肉加工業者と連携
- 廃棄される食材を活用したレトルトカレーを開発し、PR活動等を実施



⑤佐伯市立米水津中学校

- 地域の魅力を発信するため、米水津振興局や佐伯豊南高校等と連携
- 水産学習を通して、米水津の魅力を広めるためのパンフレット作成等を実施



⑥日田市立南部中学校

- 地域の発展・活性化のため、製茶会社、日田三隈高校等と連携
- 地域と維持・管理を続けてきた茶葉の収穫・製茶や、茶話会の企画・運営等を実施



実践校と内容等

令和7年度 大分っ子『未来創造プロジェクト』実践交流会

目的

- ①地域・社会や産業界と連携
- ②地域のよさを生かした商品開発等、行動を伴った探究的・協働的な学習
- ③自らの生活や行動に生かす

期日
場所

令和8年1月31日(土)
別府国際コンベンションセンター
(ビーコンプラザ) レセプションホール

(1) 実践校によるステージ発表



(2) 取組や制作物等のPRタイム

ステージ発表だけでは伝えきれなかった取組の詳細や実際の制作物を各ブースに準備。オリジナル商品を販売したり、参加者に意見をもらったりするなど学校ごとにPRを行った。



(3) グループディスカッション

「地域のためにこれから 自分にできること」

学校・学年の枠をこえて、テーマに沿って意見交流を行った。



【参加した生徒・先生・保護者等の感想】

生徒

■他の地域の中学校の皆さんも、各地域で少子高齢化や人口減少が課題となっていて、どこの学校も同じような問題を抱えているんだと思いました。解決するのは簡単なことじゃないし大変だけど、地域の笑顔のために中学生が今からできることを考え、頑張りたいです。交流できてよかったです。

■これまで僕たちはフードロスについて学んできました。今日の発表で荻町や自分の故郷についてたくさん知ることができました。僕たちの発表も声が届いていたと思います。グループディスカッションではたくさんの意見が出てとっても楽しかったです。未来創造プロジェクトとしてこれからも頑張っていきます。

先生

■各校が、たくさんの地域人材、高校、専門家と連携して課題解決を目指している。そういう外部の力を利用する意識を校長、担任が持つことが必要であると感じた。また、地域貢献プロジェクトが大変素晴らしい取り組みなので、これを、市内のすべての学校に共有したいと感じた。

■どの学校の取組も、自分の身の回りや地域の課題や強みを見つめ直し、そこから自分たちで考え課題解決に向けて発信したり、行動したりしているそのプロセスがすばらしいと感じました。自分が地域に貢献することで、自己肯定感が高まり、さらに主体性が生まれ、自分の将来の夢につながっていくなと思いました。

保護者

■地域の方々と交流しながら子ども主体で動いたプロジェクトで、子どもたちは大きな自信をつけたと思います。

■どの学校も生徒と地域の関わりがよくてとても良かったです。企業とコラボしたり、生産者の方と話し合い商品化したりと、将来がとても楽しみです。

交流会の様子
と
感想
等

杵築市立山香中学校

世界農業遺産に認定されている杵築市。私たちの校区である山香・大田地域は農業が盛んに行われている地域です。農業をする上で近年問題になっているのが鳥獣被害で、その対策として害獣駆除が行われています。しかしながら、害獣駆除された動物も一つの命です。

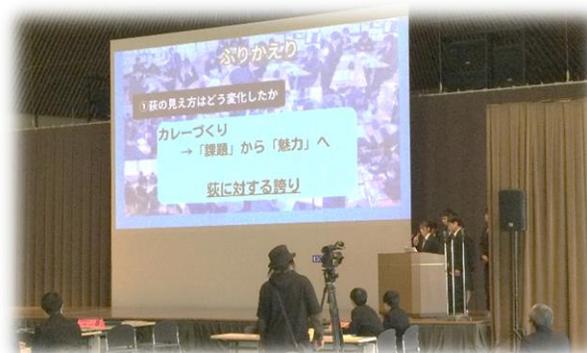
私たちは、その駆除された命を有効活用し、地域の活性化を図りたいと考え、地元企業の協力を得て、ジビエ肉を使った商品の考案や販売を行いました。今年度、「味の改良と発信強化で山香ジビエをブームに」をテーマに、ジビエ肉を使った中華まん（ししまん）の新しい味の開発やそのPR動画を作成した取り組みについて報告します。



竹田市立緑ヶ丘中学校

豊かな自然に囲まれた荻町は、真っ赤に実るトマトや高原野菜、畜産が盛んな地域です。多くの生産が行われている一方で、規格外で廃棄されてしまうトマトや、普段食されることがのない、にわたりのネック部分など、多くの廃棄食材があることが課題でもあります。

今回、フードロスの学習を通じて、私たちにできることはないか模索したところ、考えたのが「レトルトカレーの開発」でした。カレー作りを通して、地域の人とつながり、たくさんの人に荻町の恵みと笑顔をお届けるために取り組んだことを発表します。



佐伯市立米水津中学校

私たちは、「地域産業を未来につなげよう」を探究課題に設定し、「米水津の魅力」をより多くの人に知ってもらうこと、そして取組が「持続可能」なものとなることを意識しながら活動を進めてきました。本プロジェクトが3年目となる今年度は、米水津中学校や米水津の良さを周知・紹介するための「PR活動（パンフレットづくり）」に焦点を当てて取り組みました。佐伯豊南高校、佐伯市米水津振興局、佐伯市社会教育課の方々と連携し、パンフレットづくりに必要な視点や、地域の方々が私たちの活動に寄せてくださっている期待に気づくことができました。「自分たちに何ができるのか」改めて考えたこと、米水津の魅力を発信するための取組についてまとめ、発表します。



臼杵市立野津中学校

これまで2年間、地域の宝を守り継承しながら発展を目指して挑戦している方々と出会い、その思いや物語に触れつつ協働学習を進めてきました。今年度は、5つの連携先と有機農産物を活用し、後藤製菓で栽培した有機生姜を用いた菓子や弁当の商品化、海洋科学高校と連携した有機ピーマンを使った実習製品の共同開発等に取り組みました。その過程で、地域連携の深化という成果が得られました。これらの取組の様子と成果について発表します。



中津市立耶馬溪中学校

私たちが暮らす耶馬溪町は、美しい渓谷が広がる自然豊かな地域で、四季の移ろいを身近に感じられる町です。特に初夏には若葉が芽吹き、秋には紅葉が色づくなど多くの人々を魅了します。一方、この地域は大雨による川の増水や土砂災害が発生しやすいという特徴もあります。

私たちは、こうした自然と共に暮らす中で、自分たちにできることを考え、地域の魅力を発信したり防災の大切さを学んだりしてきました。本日は、その成果を発表します。



日田市立南部中学校

南部中学校には、1953年に開園した「陣ヶ原茶園」があり、生徒や先生、保護者や地域の方など多くの人々の協力で維持・管理を続けています。72年経った今も茶葉を摘み、お茶を販売しています。また、本校では、地域の要請により、「地域貢献プロジェクト」としてボランティア活動に取り組んでいます。

今年度は、南中の伝統である茶園を活用し、「地域貢献プロジェクト・茶話会」を自分たちで企画・運営しました。地域貢献のために何ができるか、中学生と地域の方、地域の方どうしのふれあいの場を提供できないかなどについて考え、取り組んだことを発表します。



グループディスカッション



【テーマ】

地域のために これから 自分にできること

